

ようやく涼しくなってきました、日が落ちるのも早くなりました。今月は読書週間が始まります。図書室でも関連イベントとして、さまざまな企画を用意しました。普段本を読む人も読まない人も本に触れる機会になればと思います。

読書週間イベント

10月20日(月)～11月21日(金)

①図書委員おすすめ本POP紹介

図書委員が心を込めて作った、おすすめ本のPOPを展示しています。POPの本を借りると、図書委員作成のしおりとブックカバーをプレゼント！

②図書館ビンゴ

本を借りてビンゴに挑戦！
3ビンゴ達成で豪華景品をゲット！
用紙は図書室で配布しています。

③雑誌の配布

10月23日(木)12:50から配布開始

昨年度の雑誌の配布を行います。
1人3冊まで、先着順です。

配布雑誌

- ・月刊ピアノ
- ・Newton
- ・月刊MOE
- ・SCREEN
- ・ダ・ヴィンチ
- ・オレンジページ

新着図書

『僕の仕事はごみ清掃員。』

滝沢秀一/著 河出書房新社

お笑い芸人28年、ごみ清掃員13年の作者がごみの本質にせまります。

「ごみの出し方を見れば、その人の人間性がよく分かってしまう」(本文より)

たかがごみ。されどごみ。そもそもごみって何？奥深いゴミの世界、のぞいてみませんか？



『世界一やさしい脳科学入門』

毛内 拓/著 河出書房新社

やる気が出ない理由は脳に聞いてください』

集中力が続かない、モチベーションが上がらない、人間関係が苦手……。こうした悩みを脳科学の視点から解決してみませんか？脳のなかで起きている現象が、どうして気分や思考、行動につながるのか、丁寧に紐解いていきます。



『本でした』

又吉直樹・ヨシタケシンスケ/著 ポプラ社
バラバラになってしまった本、破れてしまった本、タイトルだけでも、1行だけでも、ちょっとした手がかりで、元の本に復元できる2人組が村のはずれに住みつききました。興味をひかれたページ、目についたページを読んでも楽しい1冊です。



2025・第79回 読書週間

10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



読書週間の紹介

終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日(文化の日をはさんで2週間)になったのは、第2回からです。

それから約80年、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

公益社団法人 読書推進運動協議会HPより

電子図書館のおすすめ本



電子図書館はこちらから



怖いはなし集めました

『3分後にゾッとするとする話 -海外の怖い話-』

野宮 麻未・怖い話研究会/著 マニアニ/絵

ほか

